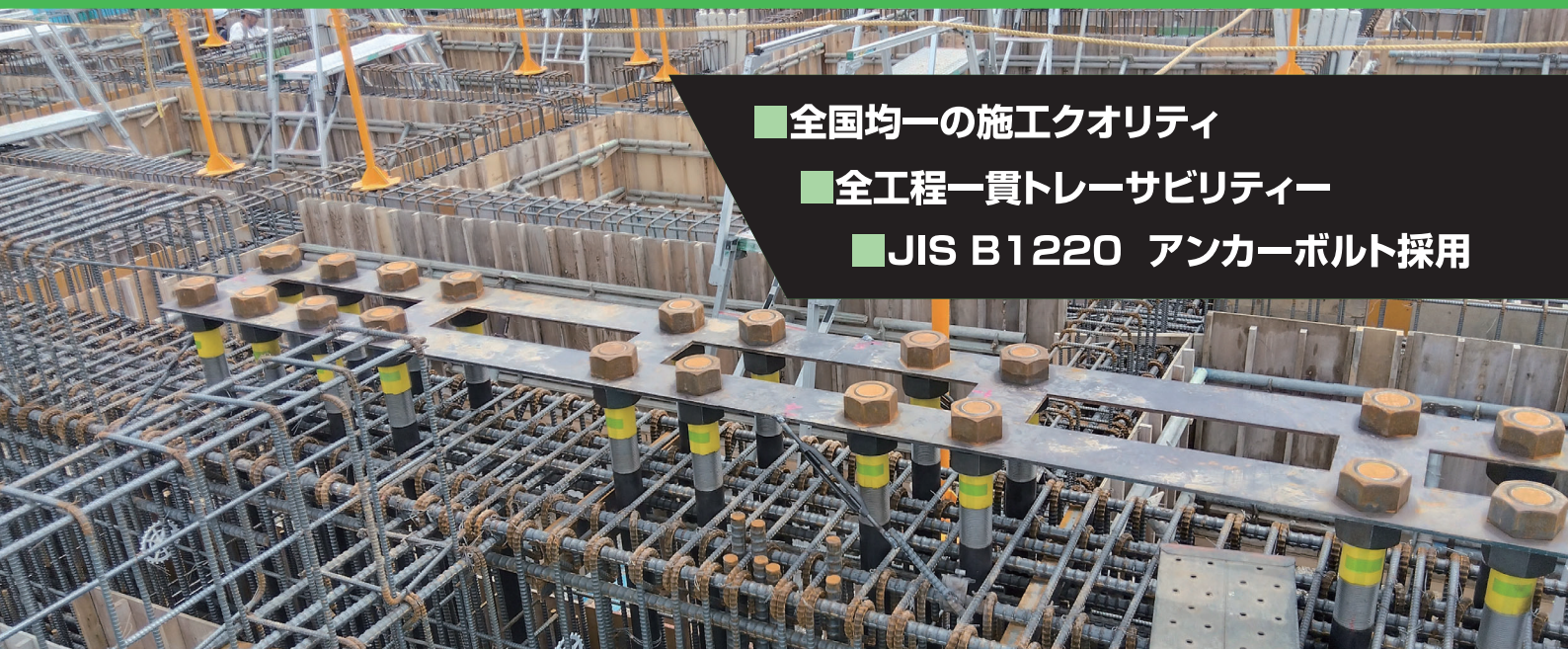


耐震基礎安心工事システム

Dスルー工法



- 全国均一の施工クオリティ
- 全工程一貫トレーサビリティ
- JIS B1220 アンカーボルト採用

「安心基礎」の普及をめざす

Dスルー施工連絡会



安心とコストの両立を実現 through System

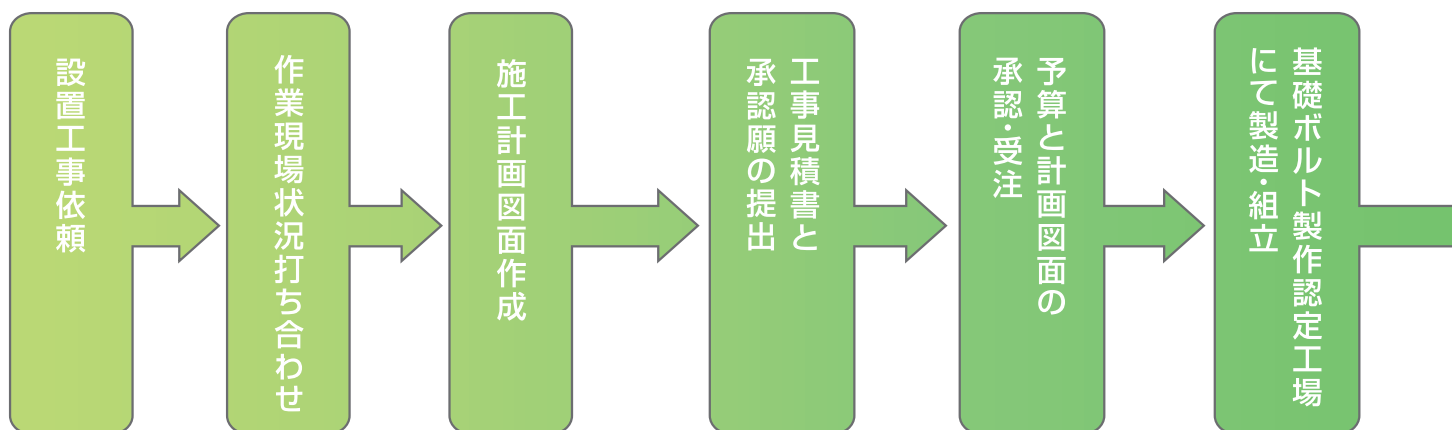
Dスルー施工連絡会のご提供する、
「耐震基礎安心工事システム」は
全国に"安心基礎"の普及をめざします。

概要

- ISO品質管理システムに準拠した現場管理を徹底。
- 耐震性能保証SNRアンカーボルトを採用。
- 共通レベル施工品質管理教育を行うことにより、能力格差を解消し、
全国で均一した施工クオリティを提供。
- 契約から完了受渡までの一貫したトレーサビリティの実現。
- 現場の現地業者施工契約によるコストダウン。



<耐震基礎安心工事システムの流れ>



Dスルー工法の施工フロー

STEP
1



搬入



仮置き

STEP
2



固定板取付作業



レベル調整+位置決め

STEP
3



溶接により固定



設置完了

現場搬入



工場組立で現場設置工事日数を短縮。
労務費削減によりコストダウン。

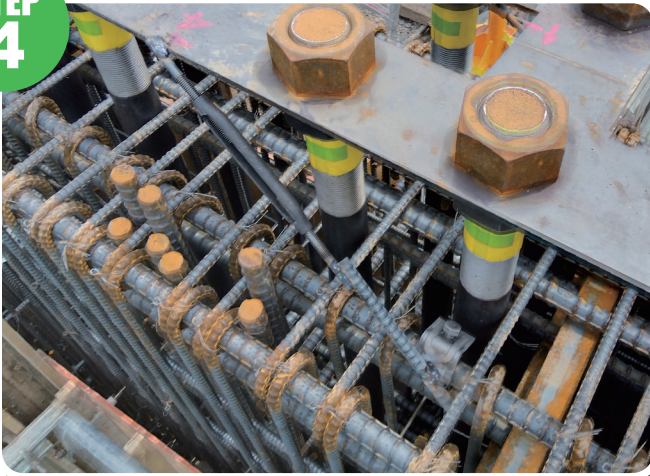
現場フレーム設置施工

位置確認・修正と
寸法精度検査表提出

完成引渡し

STEP
4

配筋作業後の位置修正



位置修正完了

STEP
5

お引渡し

OPTION

下記のような作業もオプションにて承ります。

コンクリート打設時相番

テンプレートバラシ(撤去)

ベースモルタルの充填

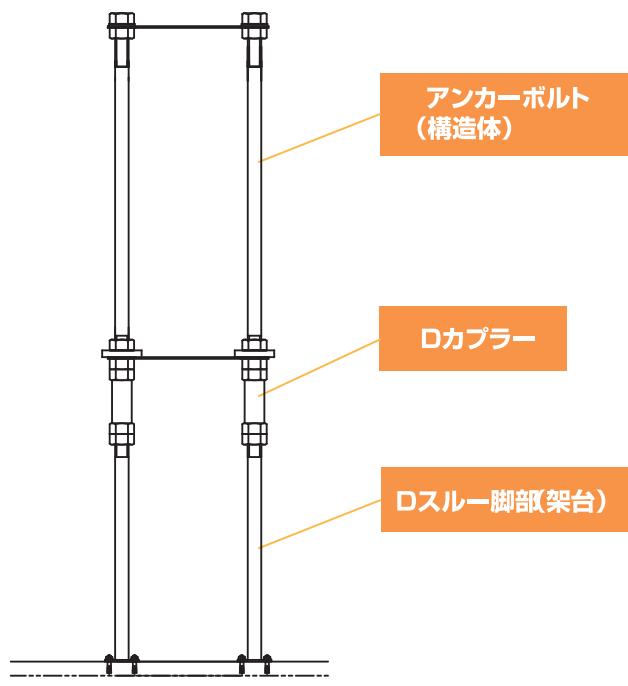
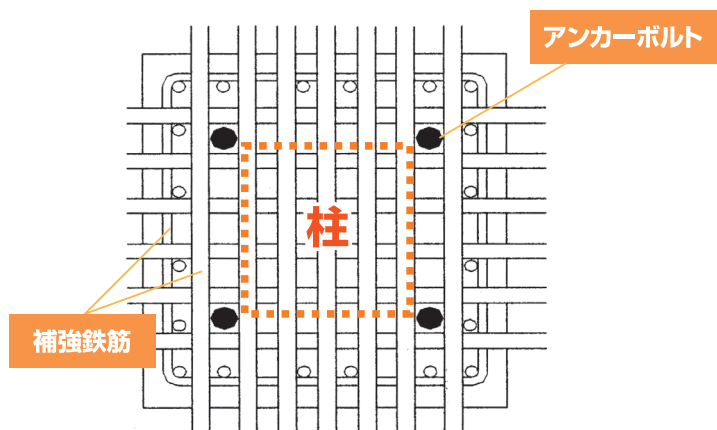
アンカーボルトの締付け(本締め)

『Dスルー工法』のポイント

Dスルー工法は、原則としてアンカーボルト直下に配筋がなされないことに着目し、さらにコンクリート流入性の良い丸鋼を用いた、直下型のアンカーボルト据付工法です。

煩雑な配筋をスルッとかわし、構造体の耐震アンカーボルトを正確・安全に保持する役目を担います。

■Dスルー工法の特徴



鉄筋との抵触を回避するアンカーボルト直下型架台

Dスルー工法は、アンカーボルト直下に架台を設けたことが大きなポイントです。鉄筋との抵触を大幅に回避いたします。

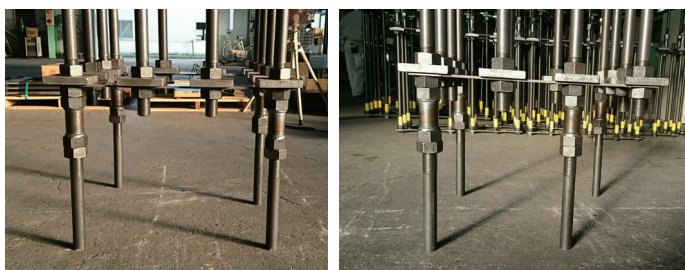
脚部に丸鋼を使用したシンプル構造のため、従来使われているアングル架台などに比べ、コンクリート流入性を大幅に高めました。

レベル調整が容易

特殊カプラー・Dカプラーの使用により、上下水平レベルの調整が簡単・効果的に行なえます。

脚部の位置移動、段差にも対応

Dスルー工法では、アンカーボルト直下であれば、どの位置にも脚部の移動が可能です。障害物があった場合も気になりません。また、段差のある箇所でもフレキシブルに対応します。

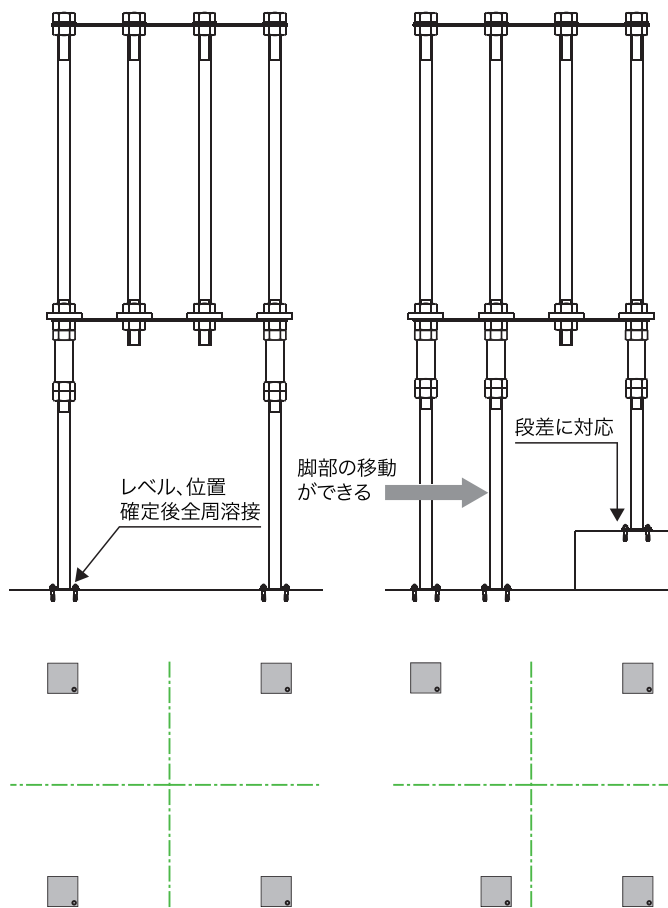


変更前

変更後

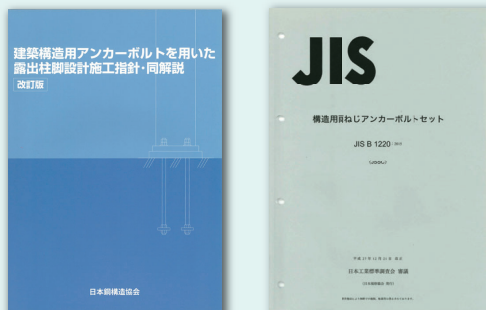
工場組み立て後に現場搬入

工場組み立て後に現場搬入されるため、工事現場での滞留時間を圧縮できると共に、工期の短縮にも貢献いたします。



JIS認証工場及び(社)日本鋼構造協会認定工場による製品を全面的に採用。

Dスルー工法は、JIS規格（JIS B 1220：2015 ABR/ABM）の認定メーカーが製造する同製品を採用した信頼性の高いシステムです。露出柱脚設計施工指針に準拠した施工でご提供致します。



全国初の鉄骨柱脚工事施工業者団体 「Dスルー施工連絡会」の設立目的

- アンカーボルト施工工事技術の研修を通して、作業者の施工品質認識と全国同一精度レベル化と施工業界の地位向上をめざす。
- 技術研究と自己研鑽、親睦・協調を通して、会員間の信頼応援体制と一貫責任施工体制を確立し、建設業界および社会に貢献する。

本会は、趣意に賛同した施工工事業者の有志で構成・運営する。

耐震基礎安心工事システム『**Dスルー工法**』のお問い合わせは下記へ

Dスルー施工連絡会

✻ 有限責任事業組合 **Dスルー**

〒490-1414 愛知県弥富市坂中地5丁目2番
TEL.0567-56-5465 FAX.0567-56-5508

<https://d-through.jp/>

『Dスルー工法』取扱い店